



よしかい育子の 「しんぶん赤旗」読者だより

2011.6.12 NO.194

編集・発行

よしかい育子
465-7071
小川ゆうじ
466-8887
なんでも相談所
465-9939

生活・法律相談・ご意見もお気軽にお寄せ下さい

小川・吉開

検索

「日本共産党田尻町会議員団 小川・吉開です」

なんでも相談の開設は
月・水・金の
午前10時～正午
無料・弁護士相談
7月8日(金)
午後18時～20時
予約が必要です

掲げた公約実現に向け一般質問

6日、6月定例町議会が開催され、共産党議員団は掲げた公約実現に向け、一般質問をおこないました。傍聴者は10人でした。私の一般質問の報告をします。

「粗大ごみ（不燃ごみ）をもう少し出しやすい金額にしてほしい」と町民の声 大きな粗大ごみと、小さな不燃ごみを分けて定期収集を求める

質問

田尻町の粗大ごみは、電話申込で家具類など大きな粗大ごみも小さな不燃ごみも45リットル相当500円です。食器類や電池、鍋などの小さな不燃物は、45リットルになるまで置いておかなければなりません。共産党議員団がおこなった町民アンケート調査では、「粗大ごみをもう少し出しやすい金額にしてほしい。」「粗大ごみをもっと気楽に出したい。」「また、「粗大ごみの定期収集を。老人一人暮らしは困る。」「不燃ごみは、細かい物が多いので定期収集にしてほしい。現状だと可燃ごみとして出される可能性があるので。」「など、切実な声が寄せられ、定期収集にしてほしいというご要望が65.4%ありました。

45リットル500円と20リットル500円の町指定袋で回収している熊取町を参考に、小さな不燃物を出せるように、20リットルでも出せるように料金を下げ、カーン・ビン・ペットボトルと同じ日に定期収集することを求めます。

「泉佐野市と協議して検討する」と町長は答弁

担当課長は、「安易に処分できるように金額設定を加えることは、減量化の観点から逆効果につながりかねない」と否定的でしたが、町長は「田尻町は泉佐野市と清掃組合をつくらせているので、泉佐野市と協議してから検討する。」と前向きな答弁をしました。

熊取町の、小さな不燃ごみの出し方
(熊取町ホームページより作成)※電話申込による回収です。

●指定袋に入る小さいものは...

500円
45リットル指定袋
250円
20リットル

ごみ袋の口を結んで何もはみ出さない状態でまとめて町指定粗大等ごみ袋(20リットル又は45リットル)に入れてください(粗大ごみ等処理券は不要です)。

田尻町の現在の「粗大ごみ」の定義の修正提案

「粗大ごみ」を下記のように「粗大」と「不燃」に分類します

(粗大ごみ) (不燃ごみ)

質問

入れてはいけない物を書いた表を作り、プラスチック分別をもっとわかりやすく

容器包装プラスチックの分別について、高齢者から、「入れてはいけない物を書いた表がほしい。」「という声を頂いています。ごみの出し方を書いたポスターに、入れてはいけない物を書くなど、啓発ともっとわかりやすい説明を求めます。

答 弁

広報6月号に、廃プラの袋に多く混入されている、入れてはダメな物ベスト5を記事掲載するなど啓発活動に努めている。今後わかりやすい説明をおこなっていく。ごみの出し方のポスターに、入れてはならない物の説明は、今後、更新するときを考えている。

先週の「小川ゆうじの読者だより」で掲載した左の記事を右のように訂正します。予算書の見間違いでした。申し訳ありません。(小川)

建て替え用地売却のための補正予算(案)	訂正	売り払い収入は全額役場横の高砂町営住宅建設の借金返済にあてる補正予算(案)
測量・不動産鑑定など支出 2, 270万円	→	売り払い収入 5, 560万円
売り払い収入 5, 560万円		(今年度返済) 3,367万5千円
差し引き 3, 290万円		(来年度返済) 2,192万5千円